

**分析結果報告書[3] 共通試料1(模擬水質試料:一般項目等)
分析方法等【COD】**

GOD

の色が付いた回答欄に選択肢番号をご記入ください。
 の色が付いた回答欄に自由回答をご記入ください。
 の色が付いた回答欄に数値を半角でご記入ください。
 ○ のような図形で選択肢を囲んでも結果には反映されません。
 例: 1. 1未満 2. 1以上2未満 ~~3. 2以上5未満~~ 4. 5以上10未満 5. 10以上

分析主担当者

↓ 回答欄

経験年数(年)		1. 1未満 2. 1以上2未満 3. 2以上5未満 4. 5以上10未満 5. 10以上
実績(年間の分析試料数)		1. 50未満 2. 50以上100未満 3. 100以上200未満 4. 200以上500未満 5. 500以上
分析(主)担当者以外の分析結果の確認		1. あり 2. なし

分析方法等

分析開始日		2023/○/○○の形でご記入ください
分析終了日		2023/○/○○の形でご記入ください
分析方法		1. 滴定法(手動) 2. 滴定法(自動) 3. その他
3. その他(右のセルにご記入ください)		
自動測定装置のメーカー		1. 平沼産業 2. マイクロニクス 3. メトローム 4. その他
4. その他(右のセルにご記入ください)		
分析に使用した水		1. 蒸留水 2. イオン交換水 3. 超純水 4. その他
4. その他(右のセルにご記入ください)		

試料の保存状況

保存方法 注)		1. 冷蔵所保存 2. 保存しない(直ちに分析) 3. その他
3. その他(右のセルにご記入ください)		
保存温度(°C)		1. 4未満 2. 4以上5未満 3. 5以上6未満 4. 6以上10未満 5. 10以上

注) 冷蔵保存、冷凍保存は冷蔵所保存を含む

希釈操作(実施要領では10倍希釈となっています)

共通試料分取量(mL)		mL
定容量(mL)		mL

測定条件等

試料分取量(mL)		mL (10倍希釈後の試料の量を記入する。)
容器中の試料量(mL)		mL
予備試験		1. 実施する 2. 実施しない
予備試験-試料の分取量を決める試験(CODの概略値を測定)		1. 実施する 2. 実施しない
予備試験-銀塩の添加量を決める試験(塩化物イオン濃度の定性的な測定)		1. 実施する 2. 実施しない
予備試験-銀塩の添加量を決める試験(塩化物イオン濃度の定量的な測定)		1. 実施する 2. 実施しない
予備試験-その他の試験		1. 実施する 2. 実施しない
塩銀の使用-種類		1. 硝酸銀溶硝酸銀溶液(200g/L) 2. 硝酸銀(粉末) 3. 硫酸銀(粉末) 硫酸銀(粉末) 4. その他
4. その他(右のセルにご記入ください)		
塩銀の使用-添加量(mL又はg)		mL又はg (硝酸銀溶液ではmL、硝酸銀(粉末)又は硫酸銀(粉末)ではg単位で記入する。)
塩銀の使用-添加後の攪拌方法		1. 手動 2. マグネチックスターラー 3. 振とう機 4. その他
4. その他(右のセルにご記入ください)		
塩銀の使用-攪拌速度(回/min)		回/min
塩銀の使用-攪拌時間(min)		min
水浴中の温度-最初(°C)		°C
水浴中の温度-15分後(°C)		°C
水浴中の温度-30分後(°C)		°C
加熱終了後からしゅう酸ナトリウム溶液を添加するまでの時間(min)		min(加熱終了直後に添加した場合は「0」を記入する)

標準液

標準原液(過マンガン酸溶液)		1. 自社調製 2. 市販品を購入
標準原液メーカー(市販品を購入の場合にご記入ください)		1. 富士フイルム和光純薬 2. 関東化学 3. キンダ化学 4. ナカライテスク 5. シグマアルドリッチ 6. 伊勢久 7. その他
7. その他(右のセルにご記入ください)		
標準原液の濃度(mmol/L)		1. 5 2. 20 3. 25 4. 100 5. 200 6. その他
6. その他(右のセルにご記入ください)		mmol/L

測定

5mmol/L 過マンガン酸カリウムの滴定量(試料)(mL)		mL(3回の平均値)
5mmol/L 過マンガン酸カリウムの滴定量(空試験)(mL)		mL(複数回行った場合は平均値)

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点		
計算式		COD濃度(mg/L)=